



2023年4月26日

各位

会社名 株式会社ファインシンター
代表者名 代表取締役社長執行役員 井上 洋一
(コード番号 5994)
問合せ先 取締役常務執行役員経理部長 小林 努
(TEL 0568-88-4355)

業績予想値と実績値との差異及び固定資産の減損損失計上に関するお知らせ

2023年2月2日に公表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。また、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、一部の固定資産について減損損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異
(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	39,000	△1,130	△1,430	△1,340	△304円49銭
実績値(B)	39,674	△973	△976	△2,658	△604円15銭
増減額(B-A)	674	156	453	△1,318	—
増減率(%)	1.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	38,957	435	724	208	47円31銭

2. 差異の理由

自動車焼結事業において、半導体不足等での販売量減少が想定以上に長期化した一方、エネルギー価格高騰の販売価格への転嫁が進んだため、売上高は前回発表予想と同等となりました。

営業利益及び経常利益については、エネルギー価格高騰の販売価格転嫁及び間接部門含めた費用低減策等により、前回発表予想を上回りましたが、一部の固定資産について減損損失を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を下回る結果となりました。

3. 固定資産の減損損失計上について

2023年3月期連結決算において、自動車焼結事業の一部の工場が所有する固定資産について回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、当第4四半期連結会計期間において減損損失22億2百万円を計上しました。

BEV化の進展等により今後売上の減少が見込まれるなか、今回一部資産の圧縮を行うことにより、資産効率の向上を図り、事業ポートフォリオシフトと、競争力強化の取り組みを加速し、企業価値向上に努めてまいります。

以 上